



大連の「中考（高校入試）」について

— 高校の選び方に着目して —

北陸銀行 国際部
大連駐在員事務所
金春梅

1. はじめに

9月に新学年が始まる中国では、「高考（大学入試）」や「中考（高校入試）」は6月に行われます。そこで、今回は毎年6月末ごろに実施される「中考」について紹介したいと思います。

2. 大連の「中考」について

（1）概要

総点数：『主科目600点』＋『その他科目95点』＝合計695点

日程：主科目は2023年だと6月25～26日。その他科目は1～3年生の間に受験。

科目：①主科目

科目	点数	時間	備考
国語	150点	150分	中国語
数学	150点	120分	
外国語	140点	100分	英語、日本語、ロシア語から選択
物理・化学	160点	150分	物理90点、化学70点
合計	600点		

②その他科目

科目	点数	受験学年	備考
地理*・生物	10点	中2	教科書持込可、*地学が含まれる
政治・歴史	10点	中3	教科書持込可
外国語ヒアリング	10点	中3	英語、日本語、ロシア語から選択
物理実験	5点	中3	
化学実験	5点	中3	
情報技術	5点	中3	パソコン操作
体育実技	10点	中1	縄跳び
	10点	中2	立ち幅跳び
	30点	中3	中距離走（男子1000m、女子800m）＋選択科目
合計	95点		

※コロナ禍は、『②その他科目』の一部が受験できず、該当科目は全員満点になりました。

試験会場：中学校周辺の複数の中学校か高校が試験会場となります。自分の通う中学校が試験会場になることもあります。最近では試験日の昼休みの2時間半～3時間、子供を休ませるため試験会場近くのホテルを予約する家庭も増えています。

(2) 高校の選び方

中国では高校選定が複雑で決めにくいと言われていています。大連市の場合、大学進学率の高い高校約20校が「重点高校」に指定されています（重点高校以外は「一般高校」）。

また入学定員に対し「統招」枠（全体の30%）と「指標」枠（同70%）があります。

「統招」枠は純粋に「中考」点数によるのに対し、「指標」枠は市教育局が予め中学校ごとに定員を割り振ることで、これによって特定の中学校からの合格者が集中することを防ぐことができます。ただし当該中学校の周辺に居住不動産を持ち、かつ戸籍がその居住地であることが条件となります（「指標」枠該当確認のため、毎年中学校に不動産証明と戸籍原本を提出します）。

①自分の成績順位と「統招」枠で進学できる高校の把握

5月～6月初旬にかけて大連市全体で主科目の模擬テストが2回実施されます。

そして6月10日前後に市教育局から「2回の模擬テストの成績別人数表」と「過去2年間の高校入試成績別人数表」が発表されます。2つの表は10点ごとに人数が表示されるので、「十点一段表」と呼ばれています。

まず「十点一段表」で自分の成績順位を確認し、さらに民間の教育機関が作成した「高校別合格ライン」を組み合わせることで、「統招」枠で進学できる高校が大体把握できます。因みに今年の大連市の中考受験者数は52,000人以上にのぼります。

分段	第一次模拟考试分数段 累计人数	第二次模拟考试分数段 累计人数
570以上	94	229
560以上	504	892
550以上	1350	1981
540以上	2456	3138
530以上	3675	4367
520以上	4951	5566
510以上	6209	6745
500以上	7437	7924

310以上	18622	18704
300以上	18801	18866
300以下	2166	2038
合计考生	20967	20904

备注	①市内五区包括中山区、西岗区、沙河口区、甘井子区及高新区。 ②以上分数不含学科等级赋分和体育考试分数。 ③考试总分满分600分。 ④570以上含570，下同。	
----	--	--

【大連市の模擬テスト(2回)の点数分布表(一部省略)】

②「指標」枠による高校の把握

「指標」枠が利用できる場合、前述の「高校別合格ライン」を用いて「指標」枠で進学できそうな高校を選びます。一般的に「指標」枠の合格ラインは「統招」枠よりも5点～30点低いようです。

③オープンキャンパスの活用

志望校選定に当たり各高校の教育環境をチェックするため、オープンキャンパスを活用します。オープンキャンパスは5月中旬から6月初旬に行われます。優秀な学生を多く確保するため学校間の競争は激しく、各高校とも積極的に自校PRに励んでいます。



【高校のオープンキャンパス】



【中考当日の試験会場前】

④志望校申込書の提出

学生は、志望校申込書の重点高校欄に「統招」枠として3高校、「指標」枠として1高校選ぶことができます。また一般高校欄には、私立校を含めた6高校まで選ぶことができます。志望校が決まったら、受験生は高校入試専用サイトで登録をします。

第二段 普通科中			
学校			
第一段 推薦枠	推薦入学校代碼(下)		
重点 高校	統招	平行学校志願A	推薦入学校代碼(下)
		平行学校志願B	推薦入学校代碼(下)
		平行学校志願C	推薦入学校代碼(下)
		推薦入学校代碼(下)	
第二段 指標枠	指標別校	推薦入学校代碼(下)	
第三段 一般	推薦入学校代碼(下)		
一般 高校	統招	平行学校志願A	推薦入学校代碼(下)
		平行学校志願B	推薦入学校代碼(下)
		平行学校志願C	推薦入学校代碼(下)
		平行学校志願D	推薦入学校代碼(下)
		平行学校志願E	推薦入学校代碼(下)
		平行学校志願F	推薦入学校代碼(下)

【「志望校申込書」の見本】

⑤合格発表

合格については、「全受験生の成績順、本人の希望順」に基づき本人が登録した「統招」枠3校⇒「指標」枠1校⇒「一般高校・私立」6校の順に、システムが自動的に高校選定を行います。そして試験結果や合格通知は、中考から約1カ月後、高校入試専用サイトにて本人限定で通知するほか、ウィチャットのミニプログラムやショートメールでも連絡がきます。

3. 2024年からの新しい中考政策

来年から遼寧省において新しい中考政策が実施される予定です。これまでは市ごとに高校入試問題を出してきたが、2024年からは遼寧省で統一した高校入試が実施されることとなります。

(1) 試験科目・点数の変更点

主科目の配点を下げると同時に、その他科目の配点を上げます。また「外国語会話」や「音楽・美術・労働教育」がその他科目に追加され、体育実技は全て中3で行います。

今後は単なる勉強だけでなく、実践能力や体育・芸術面など総合的能力を持った学生の養成に注力しようとする教育改革の方針が窺えます。

(2) 学校選定面での変更点

- ・「指標」枠が「1校のみ」⇒「2校まで」選ぶことができる
- ・大連市以外の戸籍を持つ学生も「指標」枠の利用対象になる。

その結果、多くの学生にとって、重点高校へ進学できるチャンスが増えます。

4. おわりに

2年前中国では、学生たちの学校と家庭での勉強負担を減らす「双减」政策が発表されました。それと同時に工場の若い作業員（労働者）が少ない現状に対して、「中考分流」という教育政策も実施し始めています。「中考分流」とは、将来中卒生の50%（優秀な学生だけ）は高校へ進学し、残り50%の学生は職業専門学校へ進学することを勧める政策です（中考分流以前の高校進学率は約60%）。

しかし親としては、中卒後職業訓練学校へ行かせるのは時期尚早であり、何とか高校・大学に進学してほしいという思いが強いです。塾で過剰勉強させ学校で優秀な成績を争う「内巻」現象は、依然として深刻です。過去3年間の重点高校の合格ラインを見ると、総点数は毎年上がる一方です（昨年比平均+5点～10点）。

中学校では受験競争が激しいと言われていますが、来年から実施される新しい中考改革政策により、多くの学生に重点高校へ進学できるチャンスが増え、「内巻」現象がある程度緩和されることを期待しています。

<ご注意>文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。
記載内容についてはご利用者のご判断と責任のもと、ご利用くださるようお願いいたします。

ほくりく長城会

長城メール

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局
〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F
((株)人材情報センター内)
TEL: (076)254-6500 FAX: (076)254-6565
E-mail: info@chojo-hokugin.jp